

衆議院環境委員会ニュース

【第 213 回国会】令和 6 年 3 月 12 日（火）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 環境の基本施策に関する件

- ・伊藤環境大臣（原子力防災担当大臣）、舞立農林水産大臣政務官、朝日環境大臣政務官、国定環境大臣政務官、山中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行いました。
（質疑者）伊藤忠彦君（自民）、近藤昭一君（立憲）、馬場雄基君（立憲）、篠原孝君（立憲）、森田俊和君（立憲）、奥下剛光君（維教）、空本誠喜君（維教）、鰐淵洋子君（公明）

（質疑者及び主な質疑事項）

伊藤忠彦君（自民）

- （1） 国連気候変動枠組条約第 28 回締約国会議（COP28）
 - ア アラブ首長国連邦産業・先端技術大臣、国営石油会社CEOのジャーベルCOP28 議長及びCOP28 全体についての伊藤環境大臣の所感
 - イ COP29 に向けた我が国の取組方針
- （2） 今国会提出法律案の背景・目的・意義
 - ア 地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律案
 - a 生物多様性条約第 10 回締約国会議(COP10)における愛知目標からCOP15 昆明・モンリオール生物多様性枠組みへの変更点
 - b 同法律案において民間事業者の取組の促進を対策の柱とした理由及び期待される企業行動の変化
 - イ 資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案
 - a 我が国の資源循環の推進に向けた環境省の取組方針及び「廃棄物」を「循環資源」として政策に位置付ける必要性に対する伊藤環境大臣の認識
 - b 同法律案の内容及び効果
 - ウ 気候変動対策における企業の役割及び地球温暖化対策法の改正による企業の取組の促進効果についての環境省の見解

近藤昭一君（立憲）

- （1） 災害時における廃棄物行政
 - ア 平時から一定のブロック単位で地方公共団体による災害廃棄物処理の拠点を確保する必要性
 - イ 災害対応を踏まえた廃棄物処理施設の予算確保、体制強化についての伊藤環境大臣の見解
- （2） 環境影響評価において、不適切な事業に対する厳しい制度運用や法改正を行うことについての伊藤環境大臣の見解
- （3） 原子力災害時における避難計画
 - ア 避難計画の策定を自治体任せにせず、国が現実を踏まえた明確な指針を示す必要性
 - イ 令和 6 年能登半島地震を踏まえ、原子力災害対策指針を見直す必要性

馬場雄基君（立憲）

- （1） 不適正スクラップヤード対策
 - ア 不適正ヤードの実態及び件数
 - イ 不適正ヤードの定義の有無
 - ウ 不適正ヤードに係る条例の制定状況

- エ 金属盗難の被害状況
- オ 不適正ヤード対策を国として取り組む必要性についての伊藤環境大臣の見解
- カ 不適正ヤード対策に向けた伊藤環境大臣の決意
- (2) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動（デコ活）
 - ア デコ活宣言に向けた他省庁の取組状況
 - イ 他省庁によるデコ活宣言に向けた伊藤環境大臣の意気込み
 - ウ デコ活宣言における費用対効果の算出方法
 - エ 費用対効果の算出方法を明らかにした上で事業を進める必要性
 - オ 費用対効果の算出方法の公表時期
 - カ 費用対効果の算出方法が明らかでないままに事業が進捗していくことへの懸念に対する伊藤環境大臣の見解

篠原孝君（立憲）

- (1) 係争中の水俣病訴訟について原告と和解すべきとの意見に対する伊藤環境大臣の見解
- (2) 令和6年能登半島地震における道路の寸断等の被害状況を踏まえ、避難計画を全面的に見直す必要性
- (3) クマ対策
 - ア クマ対策についての環境省の方針
 - イ 指定管理鳥獣に指定後、個体数調査やゾーニング等について交付金等で予算措置を行う必要性
 - ウ クマの生態等の知見を有する専門家を環境省においても育成する必要性
 - エ 全省庁でクマ対策に取り組む必要性に鑑みた連携体制の現状
 - オ 中山間地域等直接支払交付金によりクマ対策を行うことに対する農林水産省の見解
 - カ 環境保全型農業直接支払交付金によりクマ対策を行うことに対する農林水産省の見解
 - キ クマへの敵視を誘引しかねない「獣」という文字の使用を避けるため、いわゆる「鳥獣保護法」を「野生動物保護法」に変えることに対する伊藤環境大臣の見解

森田俊和君（立憲）

- (1) 将来の人口減少を見据え、中山間地の開発してきた土地を自然に返す方策についての伊藤環境大臣の見解
- (2) クマ被害対策として、人の居住区域とクマが生活する森との間に緩衝地帯として自然の植生に近い森を整備することについての伊藤環境大臣及び農林水産省の見解
- (3) 外来種対策
 - ア クビアカツヤカミキリの防除に対する国の支援の必要性
 - イ ジャンボタニシの防除に対する国の支援の必要性

奥下剛光君（維教）

花粉症対策

- ア スギ人工林の植林面積が増大した理由
- イ スギが伐採されず放置されている原因
- ウ 花粉症対策に関する政府の取組
- エ 花粉症に要している医療費の額
- オ 林業の人材不足や産業育成に関する林野庁の取組
- カ 花粉症対策についての伊藤環境大臣の決意

空本誠喜君（維教）

- (1) 過去の環境被害への対応を踏まえた環境行政の在り方についての伊藤環境大臣の見解
- (2) 原子力発電所の新規規制基準適合性審査の迅速化に向けた山中委員長の見解
- (3) P F A S 問題
 - ア 環境省の問題意識
 - イ 米軍への防衛省の対応
 - ウ 自治体の要請に対する環境省の対応
 - エ 自治体への対応に関する伊藤環境大臣の見解
 - オ 政府内に対策チームを作る必要性
 - カ 食品の耐容一日摂取量の設定経緯
 - キ 健康指標に関する既存統計の具体的内容
 - ク 上記キに対して政府参考人が説明した内容を自治体に周知する必要性
 - ケ 健康影響調査として血中濃度を測定する必要性についての環境省の見解
 - コ 在日米陸軍川上弾薬庫周辺から高濃度 P F A S が検出された件に関する米軍からの情報提供の状況
 - サ 既存統計により P F A S の健康影響を把握する方法についての環境省の見解
 - シ 既存統計活用の具体的手順等を自治体に示す必要性
 - ス 農産物における基準作りの現状
 - セ 関係省庁等が連携して汚染土壌の浄化の取組を進めることについての伊藤環境大臣の見解

鰐淵洋子君（公明）

令和6年能登半島地震からの復旧復興

- ア 復旧復興に向けた伊藤環境大臣の決意
- イ 浄化槽の早期復旧に向けた支援と迅速な対応の必要性についての伊藤環境大臣の見解
- ウ 災害廃棄物処理
 - a 災害廃棄物処理に向けた青写真の提示についての環境省の見解及び取組
 - b 災害廃棄物の分別を柔軟にする必要性
 - c 被災者やボランティアに災害廃棄物を分別する意義を周知徹底する必要性
 - d 災害廃棄物処理に伴うアスベスト対策についての環境省及び厚生労働省の見解と対応
 - e 環境省が被災地域において実施しているアスベスト大気濃度調査の今後の実施の方向性
- エ 被災建物の公費解体撤去
 - a 公費解体撤去に係る申請の簡素化の必要性
 - b 公費解体撤去の事務手続に携わる自治体職員の支援のため、現地派遣職員の増員や職員の専門性の向上に向けた支援体制の強化を図る必要性